

2学期が始まりました。1年間で一番長い学期です。猛暑は当分の間続きますが、もみじ祭(体育祭)、中地区大会を大いに楽しみましょう。始業式での校長先生のお話は次のとおりです。

8/25(火) 二学期始業式校長講話

皆さんが元気な姿で登校してきたことを何より嬉しく思う。先日の熊本地震では84名の方が亡くなられ、多くの方が被災され避難生活を余儀なくされている。彼らに



勇気を与えたのが地震の被害を受けながらも甲子園初

出場で旋風を巻き起こした有明高校球児たちだ。一生懸命にプレイする姿に県民の多くが応援する様子も話題に上がった。高校野球というと、私は昨年、県立岐阜商業高校の横山選手を思い出す。生まれつき左手に難があるにも関わらず、右手にグラブをはめ、ボールをキャッチしたらグラブを左脇に挟め、右手で送球する。打つ方も右手1本でバットを握りヒットを打つなど投打に活躍した。彼に夢を与えたのは元大リーガーのジムアローズ選手だ。同じ境遇にあり、もちろん横山君のあこがれもメジャー選手になることだ。活躍する人の周りには必ず応援するサポーターが存在する。私は、夢を追いかける人(ドリーマー)だけでなく、その夢を支え応援する人(サポーター)の大切さを学んでほしいと思う。二学期のさまざまな行事には、リーダーと支える人が協力しながら全員でより良い学校生活を作ってほしい。



講師に本校OGの立花美咲先生をお迎えして進路講演会(なるには講話)を行いました。講話の概要は次のとおりです。

9/4(金) 進路講演会

私は平成23年度に大村高校定時制を卒業した。高校時代は飲食業、コンビニ店、レンタカー店などで4年間アルバイトをしながら通学した。卒業まで頑張れたのは定時制の先生方が生徒との距離が近く親身になって支えてくれたからだ。卒業後は、正社員として働きたいと考えていた。担任の先生に企業説明会への参加を紹介され、それが縁でENEOSグループへ就職できた。結婚、出産をきっかけに一旦は転職したが、復職し、勤続15年以上となった。仕事をしていく中で、大切に思うことを2つ言いたい。それは、「**人との信頼関係を大切にすること、失敗を恐れず挑戦すること**」定時制高校で学んでいることを不利に考える必要はなく、自分の可能性を信じて努力を続けてほしい。



9/7(月) 前田先生、陸上世界大会で優勝

韓国・大邱(テグ)市で行われた世界マスターズ陸上競技選手権 100m ハードル走に体育科の前田先生が出場されました。準決勝を順調に勝ち上がり、決勝は14秒78で優勝! 高校1年からやってこられた陸上競技ですが、成績が出始めたのは22才の県優勝からだそうです。49才で膝の手術を受けたり、59才で思うように走れなくなったり、それでも地道にトレーニングを重ね今回見事優勝されました。生徒たちに「25才までに覚えたことは忘れにくい。まずは中学校レベルの英語をしっかりと勉強して、旅行でも仕事でもいいから外国へ行き、世界を知ってほしい。」と熱い思いを伝えられました。

